県立美術館の指定管理者の選定に係る報告書

県立文化施設（美術館）指定管理者選定委員会

令和８年１０月２９日

山口県知事　村岡　嗣政　様

県立文化施設（美術館）指定管理者選定委員会
委員長　　菊屋　吉生

県立美術館（山口県立美術館、萩美術館・浦上記念館）の指定管理者の選定について

県立美術館の指定管理者の選定に係る応募者の審査の結果について、次のとおり報告します。

記

１　選定の手順

審査基準や配点を予め決定の上、各応募者の「事業計画書」及び「応募者に関する書類」について、資格要件の確認及び応募者の説明による事業計画のヒアリングを行った上で審査を行い、指定管理者候補者として最優秀提案者を選定した。

２　選定委員会の開催状況

	内容	年月日
第１回	・選定委員会委員長の選任 ・募集要項、業務仕様書の検討 ・選定スケジュールの確認	令和８年８月 19 日(水)
第２回	・応募者からの事業計画の説明及びヒアリング ・事業計画の審査 ・指定管理者候補者の選定 ・審査結果の報告	令和８年 10 月 27 日(火)
公募期間：令和８年９月２日(水)～１０月６日（火）		

3　審査の方法について

(1)　審査項目

審査項目	審査内容
1　管理上の総合的な方針	・施設の現状認識 ・管理運営を行う上での総合的な基本方針
2　企画運営業務に関する提案	・企画運営業務の実施方針 ・利用者サービス向上に向けた取組 ・利用促進、利用者増加（集客対策）に向けた取組 ・他の美術館、文化施設等との連携に向けた取組
3　維持管理業務に関する提案	・維持管理業務の実施方針、再委託の考え方、方法
4　自主企画事業等に関する提案	・自主企画事業の目的、内容 ・その他の提案
5　管理体制	・組織体制 ・個人情報の取り扱い ・緊急時の対応（危機管理体制） ・苦情等への対応 ・実績等（類似施設の管理の実績、経営の安定性）
6　県との連携・調整	・県との連携・調整 県の施策、事業（企画展等）への協力・貢献・アドバイス等
7　収支計画	・５カ年の収支計画の内容・適格性 ・経費縮減方策 ・提案額
合　　計	１，０００点

(2)　審査について

提出された事業計画書及び応募者に対するヒアリングを基に、委員ごとに審査〈評価〉し、全委員の評価を集計した上で協議を行い、指定管理者候補者として最優秀提案者を選定した。

4　審査結果

(1)　応募状況

応募団体数　２者：〇サントリーパブリシティサービスグループ（サントリーパブリシティサービス（株）・鹿島建物総合管理（株）による共同事業体）

〇イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体（(株）イズミテクノ・(株）ＪＲ西日本コミュニケーションズによる共同事業体）

(2)　応募者の資格等の適合状況の審査

文化振興課において、応募者が応募資格を満たしていることを確認した。

(3)　審査結果

評価の結果を基に協議を行い、全員一致で、サントリーパブリシティサービスグループを最優秀提案者に、イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体を第２順位に決定した。

※評価の結果は、「別表」のとおり。

５　審査意見

(1)　講評

団体名	評価項目及び指摘事項
サントリーパブリシティサービスグループ	これまでの実績とノウハウに基づく堅実な提案がなされており、施設の維持管理をはじめとした取組は評価できるが、利用促進に向けた取組の充実や自主企画事業の新たな展開を期待する。
イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体	広報等の強みを活かした具体的な提案が盛り込まれており、利用者サービス向上や利用促進の取組は評価できるが、美術館の特性を踏まえた維持管理業務の提案を期待する。

(2)　審査項目ごとの主な評価、意見

１　管理上の総合的な方針

・サントリーパブリシティサービスグループは、これまでの管理運営の経験と適切な現状把握に基づく方針が評価できる。
・イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体は、店舗やネットワークの強みを活かした情報発信や既存管理者の運営を踏まえた方針が評価できる。

２　企画運営業務に関する提案

・サントリーパブリシティサービスグループは、所蔵作品などの文化資産を活用した企画が評価できる一方、施設の利用促進に向けた取組の効果が見えにくく、取組の具体化や更なる充実が期待される。
・イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体は、具体的で実現性のある数々の企画やミュージアムショップやカフェの運営など、施設の利用促進及び利用者サービス向上に向けた取組が評価できる。

３　維持管理業務に関する提案

・サントリーパブリシティサービスグループは、修繕計画の策定など長寿命化に資する取組や、蓄積されたノウハウを活用した保全対策等が評価できる。

・イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体は、大規模商業施設の維持管理の経験に基づく取組が評価できる一方、美術館の特性を踏まえた提案が期待される。

4　自主企画事業等に関する提案

・サントリーパブリシティサービスグループは、自社ネットワークを活用した他館連携が評価できる一方、地域を巻きこむ新たな事業の展開が期待される。
・イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体は、２館の特色を活かした実行可能性の高い取組が評価できる。

5　管理体制

・サントリーパブリシティサービスグループは、施設・設備のトラブルに対する支援体制や、職員配置における人材育成に向けた取組が評価できる。
・イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体は、個人情報の取り扱いや危機管理等での様々なリスクに対する予防策、対処方法が充実している点が評価できる。

6　県との連携・調整

・サントリーパブリシティサービスグループは、県の政策を踏まえた堅実な取組が評価できる。
・イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体は、親会社が県と締結した「地域活性化包括連携協定」に基づく信頼関係がある点が評価できる。

7　収支計画

・サントリーパブリシティサービスグループは、近年の物価高等を踏まえ、総体的には適正と評価できる。
・イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体は、広報や自主企画事業等へ積極的に予算が講じられ、適正と評価できる。

６　選定委員会の委員構成

	氏　　名	役　職　等	摘　　要
委員長	菊屋　吉生	山口大学名誉教授	学識経験者
委　員	原井　輝明	宇部フロンティア大学短期大学部准教授	利　用　者
委　員	増田　　肇	山口情報芸術センター館長	実務経験者
委　員	有田　順一	周南市美術博物館館長	実務経験者
委　員	祖山　久美	中小企業診断士	経営専門家

＜別表＞

１　審査結果

審査項目	満点 （委員５名の合計）	サントリーパブリシティサービスグループ	イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体
１　管理上の総合的な方針	４００	３３６	３０４
２　企画運営業務に関する提案	１，８００	１，３３８	１，５３０
３　維持管理業務に関する提案	５００	４６０	３４０
４　自主企画事業等に関する提案	４００	３２０	３３６
５　管理体制	９００	７６４	７１６
６　県との連携・調整	５００	４２０	３６０
７　収支計画	５００	４０２	４１６
合　　計	５，０００	４，０４０	４，００２

２　応募者からの提案指定管理料（指定期間の総額、消費税及び地方消費税を含む）

サントリーパブリシティサービスグループ	２，２７２，６０８千円
イズミテクノ・ＪＲ西日本コミュニケーションズ共同企業体	２，２６８，８００千円

＜備考＞

※　募集要項で示した指定管理料上限額　２，２７２，６０８千円

※　指定管理料の額は、指定管理者からの提案金額を基に、県と指定管理者が締結する協定によって定める。